

第 75 号
(R 3.10 発行)

東京滝川会だより

東京滝川会だよりでは、毎月滝川市の季節の話題等をコンパクトにまとめてお届けします。
また、令和3年度より東京滝川会だよりは、原則として「Eメール」にて送信することとなりました。
本紙が郵送で届いた方は、別紙をご参照いただき、Eメールへの切り替えにご協力ください。

News

東京滝川会だよりを通じて、会員の皆さまへ紹介したい近況や活動等の情報を事務局までお寄せください。写真とコメントの枠を活用して、順次お知らせいたします。
なお、紙面都合による文章の要約や掲載順等については、事務局へ一任願います。
提出方法：投稿フォーム(QRコード)またはEメールで写真とコメント(最大200字)を送付



▲「人造石油関連資料」が、令和3年度の「国立科学博物館重要科学技術史資料（愛称：未来技術遺産）」に登録されました。（登録日：9月14日）

「登録資料の概要」

1 登録資料名

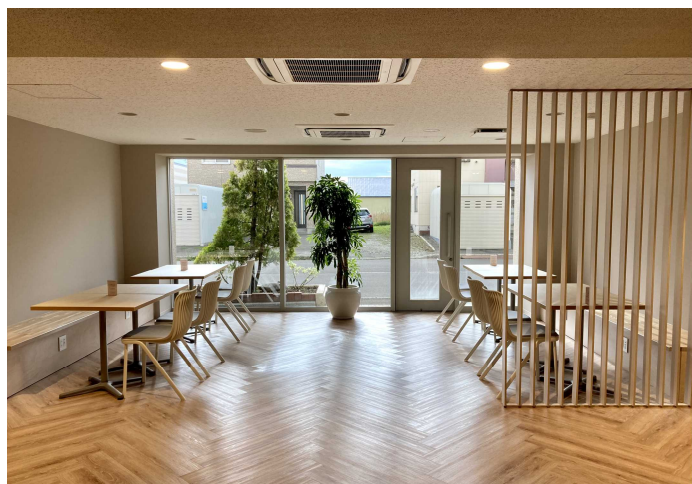
フィッシャー・トロプシュ法による人造石油工業化資料

2 選定理由

本資料はフィッシャー・トロプシュ（FT）法による液体炭化水素（人造石油）合成の工業化に関する資料です。

郷土館には1930年代後半の緊張した国際状況下、石油の供給が逼迫する背景で進められた人造石油工業化に関する資料（用いられた触媒、合成された人造石油、その他文献資料等）が残されています。

1938年に安全保障上の国策として半官半民の北海道人造石油(株)が設立され、FT法石炭液化技術による人造石油の工業化が進められました。1942年から稼働開始、戦時の資材不足などによりプラントの稼働率が上がらないまま終戦、戦後は中東産の安価な原油と経済的に競争できずに1952年に終了しましたが、本資料は当時の社会背景を受けた技術開発や工業化を示すものとして重要であるとして登録されました。



▲今年で創業135年を迎えるホテル三浦華園。9月に新たなワークスペースを設置し、テレワーク等の拡大による宿泊者の新たな需要に対応しています。



10/16（土）～22日（金）にかけて、首都圏企業等の方に滝川市に滞在いただき、滝川市におけるワーケーション事業の可能性を検証する「滝川市ワーケーション推進モデル事業」を実施します。参加者はホテル三浦華園等でテレワークを行うとともに、グライダーやフットパスなど様々な体験を通じて、市の魅力発掘や市との連携可能性を探ります。

※ワーケーションとは…「ワーク」と「バケーション」の造語。インターネット環境を利用して勤務するテレワークを活用して仕事を行いつつ、休暇日には地域に賦存する観光資源等を楽しむ新しい働き方。

◆その他の出来事については滝川市公式ホームページよりご覧ください。

広報たきかわ



◆東京滝川会の紹介
パンフレット(WEB用)
はこちら→ → → →



◆新規入会登録は
こちらから→ → →



QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です

＜東京滝川会事務局＞

滝川市大町1丁目2番15号

滝川市産業振興部産業振興課

TEL 0125-28-8009 FAX 0125-23-5839

E-mail syoukou@city.takikawa.lg.jp